



二村晶子 PhD Akiko Futamura, PhD
インフィニットバイオ (InfiniteBio) CEO
カルナバイオ USA CEO

1230 Bordeaux Drive
Sunnyvale, CA 94089
USA

Cell: 650-776-1447

www.infinitebio.com

Akiko.futamura@infinitebio.com

www.carnabio.com

akiko.futamura@carnabio.com

プレゼンタイトル： バイオテックのグローバル・ビジネス

細胞遺伝学研究室で学部卒業後、1995年に渡米し、イリノイ大学医学部生化学学科の PhD コースに入りました。血液凝固に関与する酵素の3次元構造と活性について研究しました。卒業が視野に入っていた1999年に、住友商事のシカゴ事務所のバイオチームにリクルートされ、投資や商権獲得のための技術評価を手伝い始め、バイオテックのビジネス面を知ることになりました。2001年の卒業後に、シリコンバレーに引っ越し、住商の子会社の立ち上げと、バイオテック投資ファンドのチームに関わりました。その際に、卒業して間もないにもかかわらず、「Vice President」のタイトルをもらいました。今思えば、2001年の9.11事件で、住商の人たちが日本から出張できなくなった際に、私の役割がぐっと広がりました。それまでは「技術評価」という枠で活動していたのが、投資先のビジネス面での評価も任されるようになったり、いろいろな交渉にも関わるようになりました。その時の経験と築き上げた米国でのネットワークを使って、2006年にシリコンバレーに InfiniteBio (インフィニットバイオ) という会社を作り、大手企業向けのコンサルティングや、ベンチャー企業の海外進出支援を行うようになりました。日本で知られる有数のベンチャー企業の多くが私の会社の支援を受けて海外展開をしています。日本の大手企業のいくつかの有名なプロジェクトにも関わっています。このような活動も子供ができてからは少しスローダウンしましたが、2012年からはカルナバイオサイエンスという神戸の会社の米国法人の社長を兼任し、東海岸にいる米国人チームのマネージをするほか、つい先日、カルナバイオサイエンス始まって以来初めての大きな契約である、ジョンソン・エンド・ジョンソンを相手に薬候補品の導出契約を決めました。その他、InfiniteBioの自社ネタで現在2つのベンチャー企業を立ち上げようとしています。

渡米した当時は、しばらく大学などで研究を続けるつもりだったのですが、最近の私の頭は、何か面白いことがあれば、「それを実行する会社を作ろう」という発想になります。渡米したころは思いもよらなかったことばかりしている毎日です。特に2人の子供(プラス犬2匹、トカゲ1匹)を相手にしながらの仕事は、計画通りに物事は進みませんが、チャンスが目の前にあればそれを生かすことは比較的得意であると思っています。そのようなシリコンバレーでの活動をご紹介できればと思います。